



第 5 6 5 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集
発行人 宮 崎 正 也

大阪市西区新町1丁目5番7号

四つ橋ビル8F

TEL 06(6531) 9717・5910

定価 1部 60円



平成13年の新春を迎えて

(財)大阪府危険物安全協会
理事長 三好 治雄

21世紀の輝かしい年頭にあたり謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素、皆様には本協会の事業運営に暖かいご支援とご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は景気が緩やかに回復していると言われてきましたが、百貨店や生命保険会社等の大企業や中小企業の倒産が多く発生し、全体の負債総額も最悪の数字を記録するなど非常に厳しい経済状況の中、北海道の有珠山や三宅島雄山の噴火、また東海豪雨や鳥取西部地震など自然災害の多い大変な1年でありました。

一方、危険物等による災害事故も多く発生し、6月には群馬県尾島町の化学会社でヒドロキシルアミンによる爆発火災が、つづいて8月には愛知県武豊町の火薬貯蔵庫で爆発火災がそれぞれ発生し、多くの死傷者が発生するとともに周辺建物にも多くの損害を与えました。これらの事故からも見られますように近年は時代の変化とともにその災害の態様が複雑化、大規模化し災害原因も予測しがたいものになってきております。

また、昨年11月に自治省消防庁から発表された平成11年中の危険物に係る事故概要によりますと、その発生原因は危険物の管理不十分や確認不十分など相変らず人的要因によるものが約70%と原因の大部分を占めております。危険物施設等における設備等のハード面については、近年日進日歩の科学技術の進歩に伴い充実され安全面についても大きく前進しておりますが、これらを動かす組織や安全教育等のソフト面の充実強化がますます重要になってきております。

こうした状況の中で、当協会としましては危険物取扱者の保安講習並びに準備講習、更に防災研修会等の諸事業を通じて、危険物の安全管理等に対するソフト面の充実強化に向かって全力で取り組んで参りたいと思っております。

当協会は、昭和25年7月に大阪府危険物品協会として発足し、昨年7月に創立50周年を迎えることができました。これ偏えに大阪府ご当局をはじめ府下各消防本部並びに関係機関の皆様のご指導とご支援によるものと深く感謝しているところでございます。

21世紀の幕開けとなるこの重要な時期において当協会の基礎を更に強固なものに築きあげるべく、全役職員が気持を新たに斬新的な発想のもとに創意工夫を凝らし、積極的に業務に取り組み協会発展のため総力を傾注し、その成果を誇れるものにしていきたいと考えております。

どうか、関係ご当局の皆様には、倍旧のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のますますのご健勝とご隆盛を心からご祈念し年頭のごあいさつとします。



平成13年(2001年)知事年頭所感

大阪府知事

太田 房江

皆さん、新年あけましておめでとうございます。

いよいよ新しい世紀の幕が開けました。20世紀の締めくくりであった昨年は、私にとっては文字通り目のまわるようなあわただしい1年でした。2月の知事就任以来、一日も早く大阪の現状を把握するため、できる限り府内各地の現場に出かけることに努め、また、多くの方々からご意見をお聞きしながら府政運営に全力で取り組んでまいりました。

新世紀のスタートとなる大きな節目にあたって、産業の再生、行財政改革、教育改革、福祉施策の再構築など、山積する諸課題に体当たりで対処しようと意を新たにしています。

さて、大阪の景気は緩やかな改善傾向を示しているものの個人消費や雇用等において不安材料もあり、まだまだ楽観できるものではありません。一刻も早く大阪の活力を取り戻し、「大阪の再生」を果たすため、特に次の3つの「再生」に全力で取り組んでまいりたいと存じます。

第一に、「産業の再生」であります。昨年9月に、官民あげての行動計画として「大阪産業再生プログラム(案)」を策定しました。「創都・大阪の再生～創業のまち大阪をつくる」を基本目標に、まず、「創業特区構想」として、企業に対する創業、新規事業展開、経営革新への総合的な支援を盛り込んでおります。また、「大阪IT宣言」のもと、中小企業をはじめとする府内企業のIT化を促進するとともに、新世紀における産業の牽引役として期待される、情報通信、バイオ、環境、健康福祉関連等、新たな産業分野の創出を図ってまいります。

第二として、「都市の再生」です。防災、住環境など多くの問題のある密集市街地や住工混在地区を抱えるインナーエリアは、人口・産業の空洞化が進み、その再生が課題となっております。国に対し、再整備に重点的、緊急的に取り組むことができるよう「都市再生包括交付金制度」の創設を求めるとともに、長期的な視点からこの地域を定住魅力と活力に満ちたエリアとして整備してまいります。

最後に、「府政の再生」を図らなければなりません。本府行政は産業再生、都市の再生をはじめ多くの課題を抱えておりますが、財政はまさに危機的な状況にあり、厳しい施策選択を求められております。これまでも徹底した行財政改革をすすめてまいりましたが、単なる「府政のスリム化」ではなく、削るところは削り必要なものには投資をする、メリハリのある「シェイプアップ府政」を目指してまいります。また、生活と密接に関係する分野で質の高い府民サービスを提供するとともに、事務の効率化を図るため庁内のIT化を進め「電子府庁」を実現してまいります。

あわせて、「大阪の再生」という大きな目標に向かって、府民とともに取り組んでいくうえで重要なことは、その担い手を確保し育成すること、つまり「人づくり」への取組です。昨年、実際に小中学校に足を運び、また青少年関連の事業に積極的に出席して、青少年、子どもを取り巻く現状を目の当たりにしました。そして、子どもの心が落ち着ける家庭づくりの大切さ、子どもたちの社会性の発達や健全な成長を支える地域コミュニティの重要性を痛感いたしました。「人づくりは百年の大計」といわれておりますが、この青少年・教育問題について、新世紀の課題として着実に取り組んでまいります。

また、本年は、大阪において国際的なイベントの開催が予定されています。

その一つとして、7月にロボットをテーマにした世界初の総合的なイベント「ロボット創造国際競技大会(ロボフェスタ)関西2001」が、大阪国際会議場をメイン会場に開催されます。秋には第14回世界観光機関(WTO)総会が日本で初めて開催されます。こうしたイベントを契機として、世界の各地から人々が集い交流する大阪づくりをより一層進めてまいりたいと考えております。

さらに、本年7月の2008年第29回オリンピック競技大会の開催地決定に向け、大阪・関西の夢ともいえる大阪オリンピックを是非とも実現するため、大阪市をはじめ関係機関とともに招致活動を一層推進してまいります。

「大阪の再生」なくして「日本の新生」はありません。ここ大阪から21世紀の活力を創造する決意で、府政の課題に大胆に取り組んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、今後とも府政の推進に対する皆様の一層のご理解、ご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとりまして、実り多き良い年となりますよう心から祈念いたします。



輝かしい新春を迎えて

大阪府下消防長会
会長 本城 光一

21世紀の幕開けとなる平成13年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、府下消防行政の各般にわたり、深い御理解と暖かい御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、地方分権の流れの中、昨年4月1日に危険物規制事務は、国の機関委任事務から市町村の自治事務となり、私どもといたしましては、消防手数料条例の整備など自治事務化に伴います関係条例、規則等の精査、見直し等所要の措置を講じてきたところです。

府下消防長会といたしましては、従来から、危険物行政を取巻く諸問題を解決するために、府下危険物規制事務担当者会議などの機会を捉えまして、意見交換や情報交換を行い、危険物規制事務の適切な遂行に努めてきたところですが、今後とも各消防本部との連携を密にし、21世紀の地方分権にふさわしい消防行政を担っていかなければならないと考えております。

危険物規制に関します規制緩和につきましては、順次措置されてきておりますが、今後、引火点の高い液体の危険物の規制緩和、タンクコンテナ等の移動タンク貯蔵所の技術上の基準や給油取扱所に係る技術上の基準の見直し等について措置される予定です。これらの措置内容につきましては、情報が入り次第お示しさせていただきますが、私どもといたしましては、安全性の確保を最優先に適切に対応してまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、昨年の危険物災害を顧みますと、6月10日に発生しました、群馬県尾島町の化学工場におけるヒドロキシルアミン再蒸留塔の爆発火災など、相変わらず全国各地で死傷者を伴います危険物災害が発生しております。これらの危険物災害を防止するためには、施設の設備のハード面の充実だけでなく、安全管理の徹底や防災教育の推進などソフト面の充実を図らなければなりません。そのためには、自己責任を原則とした自主保安体制の確立、整備が不可欠であり、府下消防長会としましても、積極的にその推進に取り組んでいるところです。

会員皆様方におかれましては、地域社会の安全確保の重要性を御認識いただき、より一層の自主保安体制の充実につとめられ、安全で快適な街づくりのために御尽力いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方の事業のますますの御発展と会員皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



新世紀に向けて

財団法人 全国危険物安全協会
理事長 宮腰 正美

新世紀の年頭にあたり謹んで迎春のお慶びを申し上げます。

財団法人大阪府危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、平素から危険物安全確保の最前線におきまして、その使命を深く認識され、危険物を取り扱う人々の指導・育成と危険物に係わる安全管理にご尽力をいただいているところであり、心から敬意と感謝を表する次第であります。

さて、本年は21世紀の記念すべき第一歩を踏み出す年であり、省庁再編による国の新しい組織がスタートする年でもあります。危険物を取り巻く環境も、新たな時代を迎えようとしております。

旧世紀を回顧いたしますと、20世紀の100年間は、まさに化学産業発展の時代でありました。明治時代に入り、わが国の化学産業が盛んになり、20世紀には石油製品や危険物の取扱量等が激増し、これに伴い危険物等の法的規制がなされ、昭和23年7月には消防法が公布されました。

一方、化学産業発展の歴史は、また、危険物災害の歴史でもありました。過去、幾多の災害が発生し多くの尊い人命が失われ、多大な損害を被っております。近年においても、危険物に係わる災害や事故の発生件数はここ数年増加の傾向にあり、憂慮されるところであります。

危険物は、石油製品をはじめ、我々が社会生活を営む上で欠くことのできないものとなっていることは改めて申しあげるまでもありません。しかしながら、危険物事故は一旦起きると大きな災害に繋がること、そしてその発生原因の大半が人的要因にあることを考えますと、「危険物災害のない安全な地域づくり」を目指すためには、危険物の保安管理に携わる方々に、それぞれの立場で日ごろから安全かつ適正に取り扱う努力を積み重ねていただき、いざという時に、行政機関、事業所と貴協会の三者の連携が有効に機能することが肝要であります。

冒頭に申し上げましたように、省庁再編による新しい国の組織がスタートし、各種公的規制の見直しも推進され、危険物行政も新たな時代に突入しております。

私どもは、常々、消防庁をはじめ、都道府県消防主管課、全国消防長会のご指導ご協力を仰ぎ、また、都道府県の危険物安全協会連合会と連携を図りながら、広く国民の安全思想の啓発等に努めているところであります。

今後も役職員一同さらに心を引き締めて、危険物の安全確保のため、事業の円滑な運営に一層努力精進いたす所在でありますので、皆様の格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。


21世紀と言う新しい時代の幕開けに際し、本年が災害のない平穏な年であるように、そして皆様の益々のご繁栄とご健勝を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

迎春

大阪市危険物安全協会
 豊能町防火協会
 箕面市防火協会
 池田市消防協会
 豊中防火安全協会
 島本町火災予防協会
 高槻市火災予防協会
 茨木市災害予防協会
 摂津市防火安全協会
 吹田市危険物安全協会
 枚方市・寝屋川市
 防火協会連絡協議会

交野市火災予防協会
 四条畷市防火協会
 守口・門真防火協会
 大東市火災予防協会
 東大阪市防火協力会
 連絡協議会
 八尾火災予防協会
 松原市火災予防協会
 柏・羽・藤火災予防協会
 美原町防火協会
 大阪狭山市防火協会
 富田林市防火協会

河内長野市防火協会
 堺・高石市防災協会連合会
 泉津市火災予防協会
 忠岡町防火協力会
 岸和田市火災予防協会
 貝塚市火災予防協会
 泉佐野市火災予防協会
 泉南市火災予防協会
 阪南市火災予防協会
 和泉市防災協会
 危険物取扱者部会
 大阪塗料商業協同組合

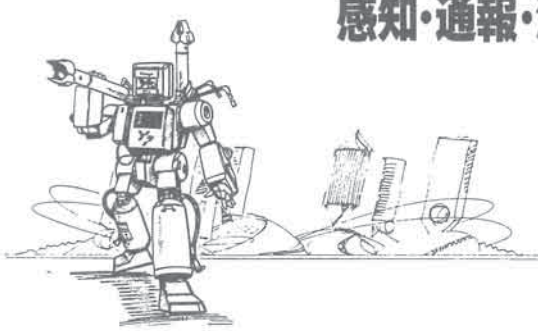


AMATO ROTEL
セイフティ & アミニティ

かんじる しらせる けす
感知・通報・消火・ヤマト

防火設備は、さまざまな防火機器やシステムによる安全の構築です。総合防災イカーヤマトロテックは「感じる、知らせる、消す」ことを安全確保の3ステップとして、目的に沿った防火機器の研究開発をとおし、ヒューマンサインのシステムとして完成させています。

* スローカーは、ヤマトロテックが、防火に最も快適環境づくりの



防火設備は、さまざまな防火機器やシステムによる安全の構築です。総合防災イカーヤマトロテックは「感じる、知らせる、消す」ことを安全確保の3ステップとして、目的に沿った防火機器の研究開発をとおし、ヒューマンサインのシステムとして完成させています。

ヤマトプロテック株式会社
 本社 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)6976-0701(代) 東京本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151(代)



H&H
ハイブリッド ハイスタフ

頑固な夢がある。
 そこにある。

原点はロスフリベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

株式会社 初田製作所
 大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市追分町3-5 TEL.(072)656-1201(代)
 東京本社 〒106-0012 東京都港区芝大門2丁目6-7 TEL.(03)3434-4841

第21回 大阪府下論文募集 (締切 平成13年 4月 6日)

安全管理・事故対策・体験等について

危険物の保安に対する意識の高揚、啓発をするため、大阪府では毎年 6 月を危険物安全月間としています。この危険物安全運動推進の一環として、危険物安全管理、防災技術、事故対策並びに体験等について論文を募集いたしますので奮ってご応募下さい。

応募資格 大阪府下の危険物関係事業所に勤務する者

募集部門 と内容

第 1 部 (製造、取扱い部門) 化学工場等の危険物製造、取扱い部門における防災管理、企業内協同研究、事故体験記録等について

第 2 部 (貯蔵、流通、販売部門) 油槽所、営業危険物倉庫の大量貯蔵部門、タンクローリー等輸送部門、又はガソリン等の販売部門における安全管理、事故防止対策、事故体験記録等について

第 3 部 (その他) 一般事業所等における危険物の安全管理、事故体験記録等について
※各部400字詰原稿用紙 (横書き) 10~15枚程度

送り先 〒550-0013 大阪市西区新町 1-5-7 四ツ橋ビル 8F
財大阪府危険物安全協会 論文係宛 電話 06(6531)9717

切 平成13年 4月 6日(金) (当協会必着)

発表 平成13年 5月中旬

表彰 ☆優秀賞 1編 (賞状と副賞10万円)

各部門の優良作品の中より選出し、6月に行なわれる大阪府危険物安全大会で表彰します。
なお、該当者は部門優良賞の副賞と重複はしません。

☆優良賞 各部門ごと 1編 (賞状と副賞 3万円)

☆佳作 各部門ごと若干 (賞状と副賞 2万円)

なお、優秀賞、優良賞に該当作品がない場合は、各部門の優良賞、佳作入選を増やすことがあります。(その他の応募者には記念品を贈呈します。)

表彰 入賞作品の著作権は本会に帰属し、作品は返却しません。

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(6358)9467 (代表)



株式会社技研

〒530-0843 大阪府北区天満4丁目11番8号 工研ビル ☎6358-9467

第4回 危険物取扱者試験 2月11日(日)、府大で

消防試験研究センター大阪府支部では、平成12年度第4回危険物取扱者試験を平成13年2月11日(日)、堺市内の大阪府立大学で次のとおり実施する。

試験日	2月11日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪府立大学(堺市)
願書受付日	1月17日(木)、18日(木)、19日(金)
願書受付場所	消防試験研究センター大阪府支部 大阪市中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL 06-6941-8430

※試験当日の会場集合時間は

- ・午前は9時30分です。
- ・午後は1時です。

試験受験準備講習会 甲種、乙4、丙種について

受験準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について、大阪、堺、吹田など府下8会場で開催の予定である。

なお、大学、高校及び各種学校の学生については、学生割引になるので、申込時に学生証を提示のこと。

※詳細については、8頁参照のこと。

平成12年度 保安講習日程表 (13年2月期)

◇一般の部			
日数	開催日時(予定)	会場	所在地又は最寄駅
55	2月8日(木)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
56	2月9日(金)午後	茨木商工会議所	JR・阪急・茨木駅
57	2月14日(水)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
58	2月15日(木)午後	東大阪市民会館	近鉄・奈良線・永和駅
59	2月16日(金)午後	*堺市民会館	南海・高野線・堺駅
60	2月19日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅

注1. 保安講習の講義時間は3時間です。

(開講時間は、講習会場によって若干異なります。)

注2. 会場欄中*印の会場は駐車可。(堺市民会館は有料。)

時代をリードする
アクション&ハイテクノロジー

SUPER GYRO LADDER ACT
先端屈折はしご車 MLJS4-30
高所での消火・救助活動をサポートする
先端のはしごが折れる内閣的のはしご車



SUPER GYRO LADDER WT
水路付はしご車 MLGS4-30W
高所での消火活動に威力を発揮する
大容量放水の水路付はしご車



MORITA

NEW KOMBINAT SYSTEM

大型高所放水車
MQA2-22



大型化学車
MC-BC



「省力化合格機種」

泡盛運搬車

〒544-8585 大阪市東区小島町5丁目15番20号
Tel.06-6756-0110 Fax.06-6754-3461
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 岡山 松山

株式会社モリタ

油濁環境対策を応援します。

多彩な油処理に 敏感・安全・強力に対応するGel粉末油剤 500/1050 完全シート



※詳細は当社ホームページ



簡単に設置・グリ化
回収しやすい

特長

- 常温で油・溶剤等を強力ゲル化し処理を容易にします。
- 揮発性溶剤の揮発を抑制するため、引火危険を回避できます。
- 油だけを吸着・ゲル化、水に沈まず、取扱いを容易にします。
- 有害物質を含まず、無害で人体・生物体系に影響を与えません。
- 粉末タイプであらゆる状態の油に対応できます。
- Gelを特殊シート状に充填ムダな油垂れがなく油取りに最適です。

用途

- 危険物取扱い安全対策、環境安全保全、環境汚染の防止。
- 貯蔵場所・油道・パイプの亀裂から流出した燃料油・機械油・廃油等。
- 工場で機械油・床油・漏れ油等各種油の除去。
- 油水分離槽の浮上油分除去処理及び廃棄処理。
- 釜・川・湖や地表に不測の油濁事故。

東京都文京区白山4丁目7番15号
TEL.033947-5371 Fax.033947-5391

名古屋西区上名一丁目1番5号
TEL.052-525-2045 Fax.052-522-2029

危険物取扱者準備講習 ご案内

平成12年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月22日(月)、1月23日(火)、1月29日(月)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄 本町駅17号出口スグ)
乙種 4類	1期	1月23日(火)、1月24日(水)	大阪府商工会館
	2期	2月1日(木)、2月2日(金)	大阪府商工会館
	3期	1月29日(月)、1月30日(火)	堺市民会館 (南海高野線 堺東駅ヨリ8分)
	4期	1月29日(月)、1月30日(火)	吹田勤労者会館 (JR 吹田駅ヨリ3分)
	土曜コース	1月27日(土)、2月3日(土)	大阪府商工会館
	日曜コース	1月21日(日)、1月28日(日)	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線 本町駅ヨリ5分)
丙種	2月6日(火)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注)甲種は3日間で、乙種(1期～4期)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の割当数を決めていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。
- ④ 下記受付場所と受付日時で申込が出来ないときは当協会TEL06-6531-9717へお問合せ下さい。

受付場所		日時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会	1月10日(水) 午前10:00～11:30
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口・門真防火協会	1月10日(水) 午後2:00～4:00
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅南へ5分)	豊中防火安全協会	1月11日(木) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会	1月11日(木) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅西へ10分)	岸和田市火災予防協会	1月12日(金) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	1月12日(金) 午後2:00～4:00
吹田市消防本部内 (JR・阪急吹田駅ヨリ約14分)	吹田市危険物安全協会	1月15日(月) 午後1:30～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	1月16日(火) 2日間とも
		1月17日(水) 午前9:30～午後4:30 (ただし、正午から40分間昼食休み)

3. 日曜・土曜コースの申込方法

日曜コース(定員70名)、土曜コース(定員140名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

4. 会費

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成12年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種4類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円
丙種	6,300円	7,350円

(注)1、消費税込の料金です。

2、大学、高校、各種学校の学生については、学生割引として会費は会員扱いとします。(申込時に学生証を提示すること)